

灘、海城、女子学院ほか独占'07年有名中学校「親子合格体験記」  
中野美奈子♥中居正広キスプリクラ疑惑の真相

# 週刊現代

Weekly Gendai

2007 March

定価350円

33

角界スクープ  
第5弾

本誌を提訴する  
相模協会よ、  
これに  
何と答えるか!  
元横網夫人が  
決意の  
実名証言

夫が私に  
告白した  
八百長の  
すべて

検証

そして  
都政の  
私物化は  
極まれり  
大政闘争  
「東京マラソン」は  
石原慎太郎 都知事の  
「3選対策大作戦」



# 美人杜氏のいる蔵元

岩手、栃木、  
長野、鳥取—  
日本酒造りは  
いまが盛り

大寒を過ぎた2月、日本酒造りは最盛期を迎える。かつては男の仕事だった酒造りに、時代が移り変わるにつれ、女性たちも加わるようになった。今宵は、美人杜氏が愛情込めて造った酒を楽しもう。

前日に洗い、吸水させておいた酒米を蒸すと、甑から盛大に湯気が立つ。蒸した米は麴となるべく麴室に運ばれる。「千野酒造場」にて





# 女たちが代々受け継ぐ 信州一の老舗の蔵

千野酒造場  
千野麻里子さん



原料作りにも携わりたいと、酒造りが行われない春と夏は、酒米の契約栽培農家で田植えや稲刈りに精を出す。手に持つのは、「川中島 幻舞 吟醸 斗廻い」1升/2940円

「わが家は曾祖母の代から続く女系家族。代々、女が蔵を守ってきたので、私が継ぐのも自然な流れでした」

川中島で上杉・武田両軍が戦を交える以前から、酒を醸してきた「千野酒造場」（長野県）。老舗の蔵元で、女杜氏として千野麻里子さん（39歳）は8年目を迎えた。

「1、2年目はわからないことだらけ。搾りの決断が遅れ思った以上に辛めの酒になってしまった」だからこそ搾りの前は、もろみの状態に気を配る。「休むことなく発酵し続けるもろみは、人の気配がするだけで活気づく。もろみに元気がないときガンバレと励ますとサワサワと発酵の進む音が聞こえる。このとき、酒は生き物だどつくづく思う」千野さんの造る日本酒はキレのよさが身上。県内でも入手困難な「幻舞」シリーズは、米の旨みが胃の腑に沁みる逸品だ。



Shop Guide

真田地鶏を使った  
「水炊き」が評判の酒処

とり ぞう くら ふね  
鳥蔵黒船

JR長野駅前の繁華街から一本裏に入った静かな路地（写真下左）にある「鳥蔵黒船」は、地元長野の銘酒と丹念に炭火焼きした鳥料理を味わえる酒処。「千野酒造場」の代表銘柄「桂

正宗」や「幻舞」など、十数種類の信州の地酒を楽しむ。平日のランチタイムに供される、真田地鶏を使った1日20食限定の「親子丼」（900円）も一度は食べたい店の名物だ

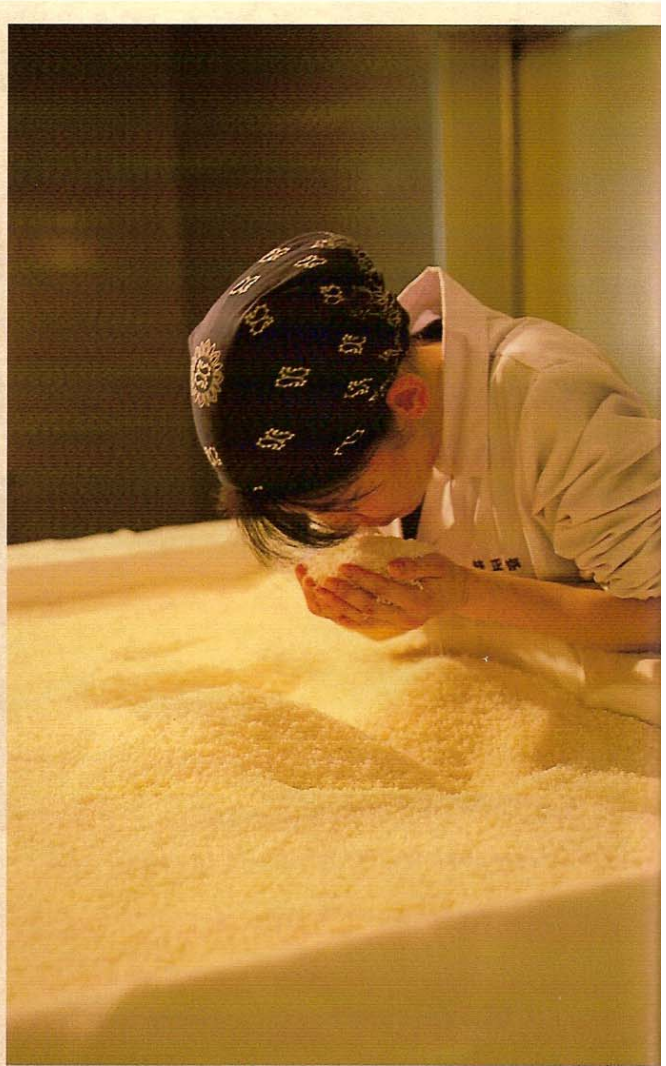


「千野酒造場」が使用する酒米の栽培農家が、川中島にほど近い松代で育てた真田地鶏を使った「水炊き」（2人前4620円・写真右下）は、

常連客に人気が高い。真田地鶏などの皮やモモ、ムネ肉を挽き、炭火焼きにした「つくね」（651円・写真上）は、ふわとした食感



●長野県長野市南千歳 2-2-4 ☎026-223-7117  
◎18:00～24:00（月～金は11:30～14:00も）  
㊟日・祝 ※要予約



高温多湿の室で麹菌をかけた米の匂いを嗅ぐ。菌の繁殖がよく、できのよい麹は、かすかに焼き栗のような香りがする。「夜も2～3時間ごとに起き、麹の温度や匂いを確認します」（写真上）。蔵の中にある、醸造の祖神・松尾

神社を祀った神棚（写真下）。酒を捧げるたび、ここに「神酒」としてお供えする

●長野県長野市川中島町今井320 ☎026-284-4062 ☎026-284-4063  
◎9:00～17:00 ㊟日・祝 ※取り寄せはFAXにて

